芸術学科　造形芸術専攻

平成元年度 1989 / 平成2年度 1990 / 平成3年度 1991 / 平成4年度 1992 / 平成5年度 1993 / 平成6年度 1994 / 平成7年度 1995 / 平成8年度 1996 / 平成9年度 1997 / 平成10年度 1998 / 平成11年度 1999 / 平成12年度 2000 / 平成13年度 2001 / 平成14年度 2002 / 平成15年度 2003 / 平成16年度 2004 / 平成17年度 2005 / 平成18年度 2006 / 平成19年度 2007 / 平成20年度 2008 / 平成21年度 2009 / 平成22年度 2010 / 平成23年度 2011 / 平成24年度 2012 / 平成25年度 2013 / 平成26年度 2014 / 平成27年度 2015 / 平成28年度 2016 / 平成29年度 2017 / 平成30年度 2018

トピックス

- ◇芸術学科・造形美術専攻として「絵画・陶芸・染織・書・水墨」の4コース体制で開設
- ◇第一回卒業制作展を1月ホールロビーと「犬学堂ギャラリー」（心斎橋）で開催（以後、毎年開催）
- ◇第二回卒業制作展の会場が大阪市立美術館に移る。以後、平成24年度まで同美術館で開催
- ◇「書・水墨コース」募集停止
- ◇「空間建築設計コース」開設
- ◇「博物館学課程」設置
- ◇展覧会「淀川芸術考」が大阪府立現代美術センターで開催される
- ◇Newideas、近畿大学、U-Arts、フィラデルフィア芸大、リスボン芸大、ニューヨークMediaiaギャラリーにおいて小品巡回展
- ◇「芸術理論コース」開設。5コース制となる
- ◇「川上村木匠塾」に参加。以後現在まで毎年参加
- ◇OBPアーツプロジェクト開催（2005年まで）
- ◇専攻名を「造形美術」から「造形芸術」に改称
- ◇「芸術理論コース」を「芸術学コース」に改称
- ◇5コース制から「造形コース」「芸術学コース」の2コース制に変更し、加えてゼミナール選を実施
- ◇インターナショナルワークショップ1視覚芸術大学（高等視覚芸術学校）、Layer of Words展（在ベルギー日本大使館文化センター）
- ◇インターナショナルワークショップ2作家3名とのワークショップ。
- ◇インターナショナルワークショップ3日米共同ワークショップ（ゼミナール名を改称）、近畿大学にて、Arts au Carre（国立モンス芸術大学）、ベルギーにてワークショップ（近畿大学にて）、Maison Folie（モンス市立劇場）にてワークショップの成果を発表
- ◇布施高校における「高校生のための絵画鑑賞教室」を実施。（現在も継続中）
- ◇HART、国際交流プロジェクト展&セミナー（啓明大学）、ラフィラデルフィア芸大にて（未来を開く旅）、近畿大学にて同校とのワークショップ
- ◇文芸学部創立25周年記念展（近大芸術）開催
- ◇あべの近鉄百貨店タワー館（近大美術画廊）
- ◇卒業制作展場が、タワー江之子島文化芸術創造センターに移転
- ◇「神戸ビエンナーレ2013」学生作品展出品
- ◇華梵大学（台湾）アート研修（近畿大学にて）
- ◇新芸術棟（D館）完成
- ◇Arts au Carre（国立モンス芸術大学）、ベルギーにてワークショップ（未来を開く旅）、同校とのワークショップ（近畿大学にて）、Maison Folie（モンス市立劇場）にてワークショップの成果を発表
- ◇「神戸ビエンナーレ2015」学生作品展出品
- ◇「芸術学コース・造形コース」のコース制を廃止。
- ◇一部、ゼミナール名を改称

教員往来

コース名

書・水墨コース

- 榊 莫山（2010年歿）— 書家、TVのCMでも活躍 — 1993年度退職
- 喜家村信一 — 書家 — 1994年度退職
- 空間建築設計コース
- 歌 一洋 — 建築家。「四国八十八ケ所ヘンロ小屋」の設計
- 無量井三郎 — プロダクトデザイン — 1999年度退職
- 山崎泰孝（2016年歿） — 建築家。「芦屋ルナホール」等の設計 — 2003年度退職

絵画コース

- 玉置正敏（2001年歿） — 画家、彫刻家。11月ホールの壁画制作 — 1996年度退職
- 野口明美（版画家、1990年度退職）
- 本村元造
- 「新制作協会」所属
- 柴 清文
- 伊藤尚子
- 張替眞宏 — 洋画家 — 2000年度退職
- 岩岡航路

陶芸コース

- 吉田 隆 — 陶芸家。磁器、「釉裏紅」の再現
- 「日本工芸会」正会員
- 上田順康
- 石田有作 — 陶芸家。白磁。オブジェと器のはざま — 無所属

染織コース

- 高橋皓子 — 染織家
- 加藤國男（染織家） — 1991年度退職
- 関口千佳 — 染織家。 民俗的染織の研究 — 無所属

無所属

- 長江貞彦 — 図学、CG — 1995年度生物理工学部に移籍
- 野口典正 — マルチメディアコンテンツの研究 — 2000年度退職
- 井面信行 — 美学、芸術学 — 北方ルネサンス美術研究
- 蜷川順子 — 三木多聞 美術批評家 2006年度退職
- 芸術理論コース
- 井面信行
- 蜷川順子 — 2000年度退職
- 平川佳世

造形コース

ゼミ名

- 油彩画：岩岡航路 — 洋画家。「国画会」所属 — 2003年、国展新人賞　2005年、昭和会展・東京海上日動賞　損保ジャパン美術財団奨励賞　2006年、損保ジャパン美術財団選抜奨励展・損保ジャパン美術賞
- 版画：伊藤尚子 — 漆芸家、版画家 — 「日本版画協会」所属
- ガラス造形：本村元造（ホンムラモトゾウ） — ガラス造形作家 — 2015年、'15日本のガラス展協会賞　2016年、第22回新美工芸会展・大阪市教育委員会賞 — 「日本ガラス工芸協会」所属
- 立体造形：柴 清文 — 立体造形作家 — 無所属
- 陶芸：吉田隆 — 2004年度退職
- 「工芸美術創工会」「日本工芸会」所属
- 石田有作 — 2011年度退職 — 2005年、「第51回全関西美術展」（第一席受賞）　2006年、「2006大阪工芸展」（大阪府工芸大賞受賞）
- 「国展」所属：五島綾子（非常勤講師）ほか、卒業生3名所属
- 陶芸・オブジェ：上田順康 — 陶芸家。「黒化粧出文」の創出
- 建築・空間デザイン：歌 一洋 — 2013年度退職
- インテリアデザイン：岡本清文 — 建築家、空間デザイナー「英語村」の設計 — 2016年度より文化デザイン学科に移籍
- 空間デザイン
- 染色：高橋皓子 — 2006年度退職
- 織：関口千佳 — 2008-09（USA）「Graphis Poster Annual award：Platinum Winner（グランプリ）」　2012　UT（ユニクロ）GLOBAL GRAND PRIX 2013：ファン大賞　第53回 大阪国際Gift Show：大賞（厚促部部門）
- ファイバーアート
- ビジュアルコミュニケーションデザイン：安 起瑩（アン キヨン） — グラフィックデザイン
- 美学・芸術学：井面信行 — 2016年度より文化デザイン学科に移籍
- 美術史学：平川佳世 — 北方ルネサンス美術研究 — 2008年度退職 — 劒持あずさ — イタリアルネサンス美術研究
- 芸術学コース

ゼミ名

- 油彩画
- 版画
- ガラス造形
- 木材造形
- 陶芸
- 「文化デザイン学科」開設に伴い空間デザインゼミは廃止。
- 2016年「文化デザイン学科」へ移籍
- 染織
- グラフィック・アート
- 美術史・芸術学：松岡久美子 — 日本美術史、仏像彫刻史 — 2017年度退職

写真資料・その他

1992年、第一回卒業制作展、11月ホールロビーにて。

ガラス造形1期生 金谷陽子さんの卒業制作

◇ガラス造形
「ガラス造形」は本村元造教授によって平成16年に開始された。当時、日本の美術大学でガラス造形の講座をもつところは少なく、その先駆的役割を果たした。以後、ガラス造形は全国の美術系大学を中心に広がり、毎年「ガラス教育機関合同作品展」が東京都美術館で開催されている。

2001年、川上村木匠

◇川上村・木匠塾
川上村・木匠塾は1998年に川上村によって立ち上げられた。ほとんど利用されていない間伐材を用いて様々な木製品を制作し、それを通して木の文化を学ぶことを目的としている。造形芸術専攻では、柴教授の指導の下、1998年から毎年参加している。

◇OBPアーツプロジェクト　2001～2005
「OBPアーツプロジェクト」は、OBP（大阪ビジネスパーク）内のIMP空き店舗に関西の美術系大学の学生の作品を展示して、バブル崩壊後の商業施設の活性化を図る、当時画期的なイベントであった。、ツインタワーでは、演劇の学生によるダンスパフォーマンスも行われた。

「芸術学コース」では、年に6～8回のエクスカーションを行い、美術作品や文化財を鑑賞する機会を設けてきた。

2013年、神戸ビエンナーレ学生作品

旧造形芸術実習棟：蚊の大群に悩まされ、ネズミやイタチの出没する劣悪な環境であったが、いまでは懐かしい空間である。

新芸術棟　D館　2014年竣工

1992年、第一回卒業制作展作品図録

1期生　伏浦幸治さんの卒業

◇「書・水墨コース」
「書・水墨コース」は、書と水墨画を講じる単独の講座として発足したが、それは大学教育としては全国的にも希少な例であったと言える。教授には榊莫山氏を迎えた。莫山先生はテレビのCMで人気者となったが、在野の孤高の書家であった。「書・水墨コース」はユニークな講座であったが、平成27年に募集停止となった。造形芸術の記憶に留めておくべき歴史である。

◇外国の大学との交流
2003年のフィラデルフィアU-Artsとのコラボレーションを皮切りとして、外国の美術大学との相互交流が盛んとなった。伊藤尚子教授とのコネクションによるベルギーの大学、安教授とのコネクションによる韓国の大学との交流が主軸となっている。
参加した学生は、多様な文化に触れ、それぞれに資するところがあった。

2005年、インターナショナルワークショップ1；La Cambre(ベルギー国立高等視覚芸術大学)にてワークショップ、Layer of Words展（在ベルギー日本大使館文化センター）。

2011年、日米共同ワークショッププロジェクト；U-ARTS(フィラデルフィア芸大)と（「未来を開く旅」）、近畿大学にて、相互交流をしてワークショップを行う。

2015年、Arts au Carre(国立モンス芸術大学、ベルギー)にてワークショップ(未来を開く旅)、同校とのワークショップ（近畿大学にて）、Maison Folie（モンス市立劇場）にて、ワークショップの成果を発表。

日本・韓国デザイン交流展
東國大学（韓国）との交流展